

「海外で戦争する国」にする 集団的自衛権行使容認に反対します

内閣総理大臣 安倍晋三 殿

【要望趣旨】

安倍政権は7月1日、国民多数の声に背いて、集団的自衛権行使容認を柱とした「閣議決定」を強行しました。

「閣議決定」は、「憲法9条のもとでは海外での武力行使は許されない」という従来の政府見解を180度転換し、「海外で戦争する国」への道をひらくものです。

こうした憲法改定に等しい大転換を、与党の密室協議を通じて、一片の「閣議決定」で強行するなどというのは、立憲主義を根底から否定するものです。

私たちは、憲法9条を破壊する歴史的暴挙に抗議し、以下のことを求めます。

【要望事項】

- 一、集団的自衛権行使容認の「閣議決定」を撤回すること。
- 一、集団的自衛権行使のための立法措置をおこなわないこと。
- 一、日本国憲法第9条を守り、生かすこと。

氏 名	住 所

取扱団体●日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 〒540-0004 大阪市中央区玉造2-15-7 USビル2F

【お願い】 お手数ですが、この署名は、最寄りの共産党事務所にお届けいただくか、下記にファックスしていただくようお願いします。日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 Fax 06-6764-9115

しんぶん赤旗

日刊 3497円
日曜版 823円

お申し込みはお近くの党事務所または党員か
上記の近畿ブロック事務所へ

折り目

「海外で戦争する国」へ 暴挙



集団的自衛権行使容認の閣議決定に抗議しようと、首相官邸前に集まった人たち11日夜

集団的自衛権 閣議決定

安倍政権は1日、国民多数の反対の声に背いて、集団的自衛権行使容認を柱とした解釈改憲の「閣議決定」を強行しました。「憲法9条のもとでは海外での武力行使は許されない」という従来の政府見解を180度転換し、「海外で戦争する国」への道を開くものです。

憲法改定に等しい

撤回を

大転換を、与党の密室協議を通じて、一片の「閣議決定」で強行するのは、立憲主義を根底から否定するものです。

日本共産党は、憲法9条を破壊する歴史的暴挙に強く抗議し、憲法違反の閣議決定の撤回を求めます。

日本共産党

近畿民報

2014年7月 No.3(第162号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は
以上の見解を
発表しました。